

じっくり心をこめて

スロー フード

59



わが家のおせち料理から 「酢豆・数の子の塩漬け」

わが家のおせち料理には、繁栄や子宝に恵まれるように「数の子」、新しい芽が出るように「くわえ」、見通しが良くなるように「レンコン」、おめでたい紅白の「かまぼこ」を入れています。そのほか、家族健康を願ってさまざまな食材を盛り合わせて新年を祝っています。

今回は、おせち料理の中から2品を紹介します。

《今月のご紹介》

畠山サチ子さん
(高田)

材料

酢豆(1鉢分)			
・青豆	2カップ	・重曹	少々
(調味料)			
・酢	1カップ	・砂糖	1カップ
・塩	小さじ1~2	・しょう油	大さじ1
数の子の塩漬け(200g)			
・数の子	200g	・重曹	小さじ1
(調味料)			
・しょう油	大さじ3と1/2	・みりん	大さじ3
・酒	大さじ3	・花かつお	5g
・だし汁	大さじ4~6		

作り方

《酢豆》

- 1 青豆はひと晩、水に浸してざるに上げる。沸騰したお湯に塩、重曹をひとつまみずつ入れて約15分中火で茹でる。
- 2 茹で上がったたらざるに上げてひと息おく。
- 3 調味料を混ぜ合わせておく。
- 4 豆を3の中に入れ、冷めたら冷蔵庫に入れる。盛り付けるときに、ニンジンの千切り、塩こんぶの細切りを乗せるといいですよ。

《数の子の塩漬け》

- 1 数の子は水に漬け、ときどき水を替えながら、1~2日間塩抜きをする。
- 2 1の水気を切り、重曹をふってしばらくおく。重曹が溶けたら水洗いし、薄皮を取り除いて2~3分間水に漬け、えぐみを取る。
- 3 調味料を鍋に入れ、ひと煮立ちさせて冷ましておく。ふきんを使って、花かつおをこす。
- 4 数の子の水気をふき取って食べやすい大きさに切り、冷めだし汁に30分~1時間漬けおき、盛り付ける。

せきかわ文芸

川柳

広報せきかわ一月号で掲載した川柳に誤りがありました。お詫びして再掲載します。

関川村を広めてくれた佐渡のトキ

松田 栄一

定着を願う天与のトキ迎え

(下関)

短歌

ちらし手に色とりどりの蝶を折るこの嬉

高橋 イツ

しさよ又楽しさよ

(愛広苑)

かたばみ短歌会作品

葉の散りし蔓梅もどきの弾けるを大がめに挿

し心地よき朝

山口 藤枝

連れ合いの優しき想い伝わりぬ老いの身包む

手編みのセーター

小池 啓子

初雪に庭木の囲いもせぬのにと杖付く夫は咳

やきており

須貝 恵美

分からねど通る声なる僧の経きけば有り難き

心地こそする

渡辺千恵子



近・現代 関川郷の人びと

執筆者：佐藤貞治（「せきかわ歴史とみちの館」館長）

鈴木久司

関川村第七代村長として村の発展に尽くした鈴木久司さんは昭和三年九月六日関川村下関に鈴木久右工門の長男として生まれた。新発田商業学校を経て昭和二十年四月一日明治大学専門

部経営科に入学。同二十一年三月三十一日同大学を中退。四月一日から関谷村事務吏員に任命された。市町村合併により関川村発足後、昭和三十一年度から始まった村財政再建計画に真剣に取り組み、村の赤字財政解消に尽力した。財務課長、総務課長を歴任の後、昭和四十二年一月行政能力を高く評価され関川村収入役に選任、四期十四年間にわたり村の発展に尽力。更に昭和五十六年四月から村助役に就任、一期三年間村の発展と住民福祉の向上に寄与した。その後三年間、財団法人重要文化財渡邊家保存会事務局長として活躍した。

そして平成元年十二月衆望を担って関川村長に初当選し、三期十二年間にわたり高邁な政治信念をもって関川村の産業、福祉、文化の向上に尽力した。福祉施設の充実と村への定住施策を最重要政策として、特別養護老人ホーム「垂水の里」や在宅介護支援センターの整備、民間老人保健施設「関川愛広苑」の誘致に尽力した。

また定住対策として若者定住プロジェクト事業を推進し、日帰り温泉施設「ゆくむ」の建設や多目的利用施設「ふれあいどむ」、児童館「光栄こども館」の整備を進めたほか、下関集落に第三次宅地造成計画を推進し、三十一区画の宅地分譲を実現した。村の福祉施設の整備や定住政策の推進に果した功績は大きい。また自治省の「地域づくり推進事業」の一環として「渡邊邸周辺整備事業」に着手し、平成六年「せきかわ歴史とみちの館」、「せきかわ観光情報センター」、「広域観光インフォメーションセンター」を建設し併せて多目的広場や公園を整備した。この中で「せきかわ歴史とみちの館」は日本建築学会作品選奨、東京建築賞、公共建築賞の三賞を受賞した。

また教育環境の改善にも積極的に取り組み、学校統合を積極的に推進した。平成十年三月女川小学校田麦分校の統合、平成十三年三月には沼小学校、金丸小学校の関小学校への統合をまとめ上げた。多大な業績を挙げ平成十三年十二月村長を退任。その後は趣味の囲碁をたしなみ、悠々自適の生活を送っている。

- ・平成十四年七月十日、河川事業の推進に尽くした功績により国土交通大臣表彰を受賞。
- ・平成十九年十一月三日、地方自治功労叙勲として旭日雙光章を受章。

・鈴木家の系図

先祖
久右工門…年太郎 西作
久右工門 久司「隆子」葉子

せきかわ文芸

関川俳句の会作品

眩しげな陽の当りいる冬座敷

渋谷 くに

遙かなる富士を仰ぎて日向ぼこ

渡辺しづい

窓開けて幸を初日に願う老い

佐藤 ノブ

賀状から昔話の広がりて

南 セツ

理髪店出するやまるき冬の月

青木 慶一

髪少しぬれて初湯の匂ふかな

五十嵐貞子

せきかわ川柳会作品「変色」「素通り」「雑詠」

我が家だけなぜに素通り諭吉さん

渡辺しづい

人生の余白を満たす白髪染め

平田 千恵

「憩の家」で天与の長寿祝われた

佐藤 ノブ

鮭の山素通り出来ぬ見事さよ

高橋 イツ

賀状見て友の筆跡安堵する

本間 イミ

素通りはしたが気になるあの笑顔

南 セツ